

(別紙3)

文起第938号 - 1  
令和元年9月26日

(施設名) 米子市公会堂  
(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団  
(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊木 隆司 ㊟

### 平成30年度「米子市公会堂」指定管理者業務評価書

施設名	米子市公会堂
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人 米子市文化財団
指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日 (3年目)

#### 【モニタリング終了後の総評】

##### 【施設所管課】

事業周知に努め、利用者数が昨年を上回る高い水準であったことは評価できる。公会堂開館60周年記念として、地元出身の演奏家によるオペラコンサートやジャズコンサート、ピアノをテーマにしたコンサートなど数多くの記念事業を開催するなど、大勢の市民に楽しんでもらうため自主事業に工夫が見られる点も評価できる。また、花壇の手入れや除草、剪定作業など行い、前庭の芝のサッチングや肥料散布を行うなど適切に管理し美観を保っている。小規模な修繕は職員が自前で行うなど経費の節減にも努めている点も評価できる。

##### 【第三者評価】

###### ① 施設について

- 近くに駐車場も増え利用しやすくなりました。
- 利用者のアンケート、要望をもとに改善、修繕を行っていること、職員で周辺の花壇の植え替え整備は評価できる。公会堂に行くと花壇、事務室前の植物に癒される。
- 外部の方の清掃に加え職員が意識して行っておられるようなので評価できる。
- 昨年度のように、公会堂周辺の除草活動、清掃活動、季節イベント等に民間企業や市民の参加を募り、市民と共に進めることが、公会堂をより身近な施設として感じてもらえるのではないだろうか。
- 施設や便所のサインの増設等、利用者の苦情に対しては対応できています。
- 行き届いた管理が行われている。特徴的な外観は、長年に渡って米子市のシンボルとしての役割を果たし、米子を離れた市民にとっても帰省の際には心の和むふるさとの風景である。建物の美しさが映える前庭づくり等について、専門家の意見も含めてのアレンジを期待したい。
- 米子市公会堂は改修工事が行われたが、部分的には建物部分や備品など経年変化は付きものである。事業報告によると、今年度(30年度)も細やかに対処・改善をすすめていることがうかがえた。除雪機や舞台・ホワイエ用の椅子・ステージ用のLED照明などの購入、また、小修繕として館内の壁の色塗

りや襖の修理・点字ブロックの補修など職員作業によるコスト削減にも努力がうかがわれ、それに加え施設周辺歩道の除草作業や清掃・植栽などの環境美化にも努力がうかがえた。

○利用者サービスについても、トイレ位置の看板設置や駐車場利用の改善促進がはかられ、インターネットやマスコミを通じての情報提供など、努力が感じられた。

## ② 管理について

○適切に管理されていると思います。

○日々、毎月の点検を欠かさず行われていることは評価できる。

○職員が少ない中での苦労はないか心配である。

○夜10時までの開館なので、職員の拘束時間が長くなっていないか、疲労が重なって管理に支障は起きていないか心配である。

○防災コンサートなどの実施は、今後も開催されることが望ましい。

○前庭の開放やホワイエの活用等、積極的な活用が公会堂が市民にとってより身近な施設となってきているように感じます。

○近隣駐車場との連携は、公会堂利用の大きな課題であったと思いますが、駐車場利用のみならず、イベント空間の連携としても、中心市街地の利用者拡大につながり、大きな成果を得ていると評価します。

○近隣駐車場の大型バス利用（駐車）が推進されれば、境港のクルーズ船利用者を主としたインバウンドに対して、中心市街地の百貨店利用、日本の文化との触れ合うきっかけづくり→（が）中心市街地の活性化などに対応していると思います。そうなれば、サインやパンフレット等の多言語対応が課題となります。

○公会堂には無料の駐車スペースはほとんどないという認識が多い。近隣駐車場と提携した1時間無料サービスがあることについては、利用頻度の高い使用者を除き、まだまだ周知されていない現状がある。利用促進を図るために、一層の広報が必要だと考える。

## ③ 事業について

○大きな事業もたくさんあり、充実していたように思います。

○60周年事業で積極的に事業を展開された事は評価できる。

○毎年、周辺の商店街と連携して事業への取組を大切にしておられることがよく判るし今後も継続して行われることが望ましい。

○集会室利用者、公会堂利用者が一緒に参加できるような事業を立ち上げられて取り組まれている事は素晴らしいと思う。

○今後も、インターネットやSNS、マスコミを十分に活用し、（傾向を見極めながらインバウンドも対象に加えるなど）幅広い情報発信、情報交換に努めてほしい。

○3月の「Piano Piano」を鑑賞した。舞台スタッフの努力と充実を感じた。

○参加者対象年齢の絞り込みや、ファン層や知名度を意識した事業展開が行われている。広報についても、交差点側に配置した大きなパネルは効果的である。次の事業企画についてのパネルに替わるのを楽しみにしている市民も多く、集客に大きく影響している。

○今年度も多くの質の良い事業が実施されていると感じられた。特に、開館60周年記念事業のひとつとして大阪交響楽団のオペラコンサート～地元出身の山本耕平氏・佐田山千恵氏を迎えて～を実現し、普段では視聴することができにくいフルオーケストラや声楽デュオの魅力をも十分に市民に提供できたことは意義深いものがある。また、音楽の都ウィーンよりウィーン・フィルの豪華メンバーによる「ウィーン・リング・アンサンブル」のニューイヤーコンサートも、素晴らしい今年の60周年記念事業に華を添えるものであった。

**【今後の業務改善方策等の特記事項】**

**【施設所管課】**

良好な施設管理、PR活動等を継続するとともに、ホールの客席数や音響等の施設の特性を活かして催しの誘致活動を行い、多くの市民が利用できる環境を整えてほしい。

**【第三者評価】**

- 利用者の高齢化が進んでいると思いますが、備品の机のコマの位置などでつまづいたり、転んだりする可能性があるので、設置の仕方などを伝えることも今後必要ではないかと考えます。
- 公会堂は構造上、大きな事業をする時の人員配置など、多くの人が必要になるので、職員の負担にならないようなことも考える必要があるのではと考えます。
- コンサートが始まる前、携帯電話の電源を切るか、マナーモードにしてくださいとの放送がありますが、私は電源を切るべきと、放送するべきと思う。
- 公会堂は、米子の中心市街地の顔。隣接する高島屋やひまわり駐車場の他、リニューアルされる高島屋東館やえる・もーる一番街、朝日町との連携による、面としての積極的な展開が望まれます。
- 特にはないが、今後も細やかな施設管理に努めていただきたい。
- 駐車場が少ないのが、なんといっても難点。「やよい」撤去あとの新しい「ひまわり」駐車場に加え、「ふれあいの里」の駐車場にも期待をかけたところ。市役所駐車場同様、カード式無料化となれば、利用者としては大変ありがたいのであるが…。

## 平成30年度下期「米子市公会堂」モニタリング評価表〔令和元年8月〕

施設名	米子市公会堂	
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	(一財)米子市文化財団
	所在地	米子市角盤町2丁目61番地
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	市政30周年記念事業として昭和33年に建設された米子市公会堂は、芸術文化の振興及び市民福祉の増進を図ることを目的としている。	
主な実施事業	鑑賞事業（優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供）年間3回程度 参加型事業（多数の市民が参加できる芸術文化の発表の機会提供）年間3回程度 教育普及事業（芸術文化に関する普及活動、情報提供）年間3回程度	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
<b>I 履行の確認（60点）</b>			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	現地確認 人員配置は計画通りであり、災害マニュアル等を作成している。
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認 適宜研修が実施されている。
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	資料確認 ポスター、チラシの配布、報道機関への情報提供、テレビ、ラジオを使った広報の他、近隣駐車場と提携し1時間無料サービスを開始する等、利用促進を図っている。
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	A	資料確認 利用者数は昨年を上回る高い水準であった。
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 自主事業についてはアンケート用紙が配布され、要望等の実現策を検討していた。
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている。
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている。
(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている。

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	資料確認 館内壁の補修や展示紙の修繕など職員が自前で行うなど適切に行なわれている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	資料確認・現地確認 事業計画書通り事業は実施されている。
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	資料確認 適切に行なわれている。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	現地確認 大ホールのみならず、前庭、ホワイエ、集会室の活用について積極的なPRを行い、利用者確保に努めている。
<b>II サービスの質の評価 (25点)</b>			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	資料確認 自主事業の際は、アンケートを配布、集計され、利用者の回答内容は概ね良好であった。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	現地確認・資料確認 花壇の手入れや除草、剪定作業など行い、前庭の芝のサッチングや肥料散布を行うなど適切に管理されている。
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	現地確認・資料確認 利用者に対する対応について適切に行なわれている。
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	A	現地確認・資料確認 60周年記念事業として記念式典をはじめ地元出身演奏家によるオペラコンサートやジャズコンサートなど数多くの記念事業を開催するなど事業内容が充実していた。
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	現地確認 ホールだけでなくホワイエ、前庭等で多様な事業を行い、芸術文化の振興及び市民福祉の増進を図るといった設置目的に即した管理内容であった。
<b>III サービスの安定性の評価 (15点)</b>			
1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	資料確認 妥当である
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	資料確認 妥当である。

3 団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	資料確認 妥当である。
------------------	--------------------------	---	----------------

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>事業周知に努め、利用者数が昨年を上回る高い水準であったことは評価できる。</p> <p>公会堂開館60周年記念として、地元出身の演奏家によるオペラコンサートやジャズコンサート、ピアノをテーマにしたコンサートなど数多くの記念事業を開催するなど、大勢の市民に楽しんでもらうため自主事業に工夫が見られる点も評価できる。</p> <p>また、花壇の手入れや除草、剪定作業など行い、前庭の芝のサッチングや肥料散布を行うなど適切に管理し美観を保っている。小規模な修繕は職員が自前で行うなど経費の節減にも努めている点も評価できる。</p>	<p>合計点 ( 72 ) 点 / ( 100 ) 点 ×100 = ( 72 )</p> <p>平均点 ( 3.6 ) 点</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

#### 【補足資料】

##### ※1 利用状況

項目	本年度〔平成30年4～平成31年3月〕 A	前年度〔平成29年4～平成30年3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	359	359	0、100.00 %	
施設利用者数	150,701	145,207	5,494、103.78 %	
施設稼働率	100%	100%	0、100.00 %	
事業開催数	23	20	3、115.00 %	

##### ※2 事業収支

###### (1) 収入

項目	本年度〔平成30年4～平成31年3月〕 A	前年度〔平成29年4～平成30年3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	17,986,886	17,939,027	47,859、100.27 %	
指定管理料	60,950,000	60,413,000	537,000、100.89 %	
事業収入	7,742,950	1,266,200	6,476,750、611.51 %	60周年記念事業の開催による入場料収入の増
補助金及び助成金	100,000	526,138	△426,138、 - %	
その他	187,853	190,464	△2,611、76.79 %	チケット販売手数料の減
合計	86,967,689	80,334,829	6,632,860、108.26 %	

###### (2) 支出

項目	本年度〔平成30年4～平成31年3月〕 A	前年度〔平成29年4～平成30年3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	20,809,455	21,996,868	△1,187,413、94.60 %	
委託料	24,603,699	23,399,847	1,203,852、105.14 %	
施設費	17,681,818	18,200,393	△518,575、97.15 %	

事業費	9,644,959	3,630,339	6,014,620、473.52%	60周年記念事業の開催による
合計	72,739,931	67,227,447	5,512,484、108.20%	

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔平成30年4～平成31年3月〕 A	前年度〔平成29年4～平成30年3月〕 B	対比 A-B、A/B	備考
① 事業収支	14,227,758	13,107,382	1,120,376、108.55%	
② 利用料金比率	20.68%	22.33%	△1.65%、92.61%	
③ 人件費比率	28.61%	32.72%	△4.11%、16.01%	
④ 外部委託費比率	33.82%	34.81%	0.99%、97.16%	
⑤利用者当たり管理コスト	483	463	20、104.32%	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	404	416	△12、97.12%	

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎているか、又は費用がかかりすぎているかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況（年度ごと下期に実施し、上期では行いません。）

項目	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	備考
①自己資本比率	44.1	57.7	51.0	55.1	44.9	
②流動比率	182.1	304.5	238.4	281.4	191.7	
③固定長期適合率	15.5	15.3	15.9	15.6	11.2	
④総資産経常利益率	-1.8	-6.5	7.6	2.3	4.4	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率 (\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】} 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

流動比率 (%) = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100 【例】 1,100 ÷ 700 × 100 = 157.1%

③ 固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

固定長期適合率 (%) = 固定資産 ÷ (固定負債 + 自己資本) × 100 【例】 900 ÷ (500 + 800) × 100 = 69.2%

④ 総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけ経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

総資本経常利益率 = 経常利益 ÷ 総資産 × 100 【例】 200 ÷ 2,000 × 100 = 10.0%

■ 貸借対照表 (例)

【資産の部】	【負債の部】
流動資産	流動負債
現金及び預金 400	買掛金 400
受取手形 500	短期借入金 300
有価証券 200	流動負債合計 700
流動資産合計 1,100	固定負債
固定資産	社債 300
建物及び構築物 200	退職給付引当金 200
土地 500	固定負債合計 500
投資有価証券 200	負債合計 1,200
固定資産合計 900	【純資産の部】
	資本金 600
	利益剰余金 200
	純資産合計 800
資産合計 2,000	負債純資産合計 2,000

■ 損益計算書 (例)

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

建物やトイレの場所が分かり難いとの意見に対し、看板を設置し対応。  
また、駐車場についての苦情に対して新たな割引サービスを導入し対応。

6 利用者アンケートの結果

自主事業について概ね事業を支持する良好な結果であった。